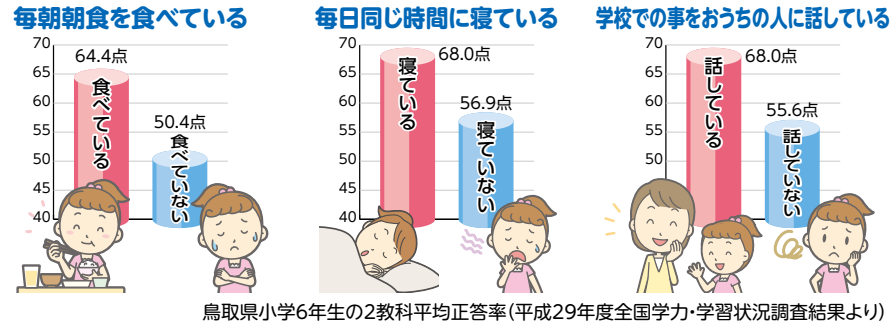


見直してみませんか？ 子どもの生活習慣！

子どもたちの健やかな成長には、日頃からの正しい生活習慣が不可欠です。進級や新入学を控えるこの時期に、あらためて家庭での過ごし方をみんなで考えてみましょう！

正しい生活習慣で学力が上がる！

しっかりと朝食・睡眠習慣や、家庭でのコミュニケーションが定着している児童は、そうでない児童と比べて学力調査でよい成績を残しています！



問合せ先 県教育委員会教育総務課 電話 0857(26)7926 FAX 0857(26)8185

教育現場でも取り組んでいます！

県内の園や学校でも、様々な工夫をしながら子どもたちの生活習慣見直しに取り組んでいます。その取組の一例を紹介します。

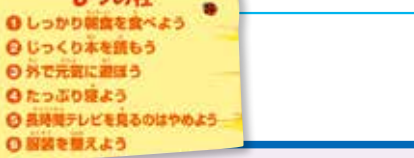
保護者も使える図書コーナー！

鳥取市立愛真幼稚園
絵本を親子で一緒に読むことの大切さや、読み聞かせの時間・ポイントについて園の説明会でお話ししたり、読み聞かせの姿を園よりで紹介したりしています。また、保護者希望の本を配架したり、保護者向け貸し出しも行ったりするなど、親子で絵本を楽しむことが出来る環境づくりに努めています。



生徒自らメッセージビデオを製作！

県立鳥取商業高校
規則正しい生活リズム（睡眠・食事・運動）の確立に向けて、生徒がメッセージビデオを製作し、健康教育ロングホームルームで活用する取組を平成23年度から行っています。こうした取組の成果により、徐々に意識変化が見られ、生活習慣の大切さが定着してきています。



PTA研修会等への講師派遣のご案内

県教育委員会では、PTA研修会等に無料で講師やファシリテーター（進行役）などを派遣する事業を行っています。（講師等への謝金、旅費は県教委が負担します。）ぜひご利用ください。

事業名	講師等	目的、講演内容のテーマなど	問合せ先	その他
「とっとり子育て親育プログラム」ファシリテーター派遣事業	「とっとり子育て 親育プログラム」ファシリテーター（進行役）	子育てや家庭教育について楽しく話し合える場を提供し、仲間づくりを進める参加型研修会です。 ●我が家のルール ベスト3 ●「10秒の愛」で子どもを幸せに ●子どものすること なすと イライラ お助け隊 など ※中学校課のホームページにプログラムを掲載しています。	県教育委員会小中学校課 電話:0857-26-7521 FAX:0857-26-8170 メール:shouchuugakkou@pref.tottori.lg.jp	●研修会開催日の原則1ヶ月前までにお申し込みください。 ●講師への謝金、旅費は県教委が負担します。（年間無料派遣回数には上限があります。） [J]中学校課 https://www.pref.tottori.lg.jp/katei/
家庭教育アドバイザー派遣事業	家庭教育アドバイザー	家庭教育や子育てについて専門知識や経験がある家庭教育アドバイザーが講演を行います。 ●親として大切にしたいこと ●親子の会話や関わり方 ●あいさつ・生活習慣の重要性 など	県教育委員会小中学校課 電話:0857-26-7521 FAX:0857-26-8170 メール:shouchuugakkou@pref.tottori.lg.jp	
人権教育プログラムファシリテーター（市町村人権教育推進員・鳥取県人権教育アドバイザーほか）	人権教育プログラムファシリテーター（市町村人権教育推進員・鳥取県人権教育アドバイザーほか）	学校・家庭・地域が一体となったいじめ防止に向けた取組を一層推進することを目的とし、以下のようなテーマを扱った「参加型」の学習会を実施します。 ●子どもの自尊感情 ●仲間づくり ●よりよい人間関係 など	県教育委員会人権教育課 電話:0857-26-7534 FAX:0857-26-8176 メール:jinkenkyouiku@pref.tottori.lg.jp	平成31年度の定数は30校程度を予定しております。学校へ募集の通知を行いますので、募集の通知（4月下旬予定）がありましたら、早めにお申し込みください。
人権学習講師派遣事業	機器移植コーディネーター、DV予防啓発支援員、女性相談担当職員、拉致被害者家族等 人権問題にかかわる当事者や関係者の方	当事者や関係者の方の話を聞き、人権尊重の社会づくりのために自分に何ができるか考えることを目的とし、以下の学習会を実施します。 ●移植医療を通してのちについて考える学習会 ●拉致問題人権学習会 ●デートDV予防学習会	県教育委員会人権教育課 電話:0857-26-7535 FAX:0857-26-8176 メール:jinkenkyouiku@pref.tottori.lg.jp	平成31年度の学習会については、4月に学校を通じて希望調査を行う予定です。
鳥取県子ども読書アドバイザー派遣事業	子ども読書アドバイザー	子どもの読書に関する専門的な知識や読み聞かせ等の豊富な経験を持つ子ども読書アドバイザーを派遣します。 ●読み聞かせのポイント ●絵本の選び方 ●子育てと読み聞かせ など	県教育委員会社会教育課 電話:0857-26-7943 FAX:0857-26-8175 メール:shakaikyoku@pref.tottori.lg.jp	研修会開催の1ヶ月前までに申し込みが必要です。
ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業	ケータイ・インターネット教育推進員	電子メディア機器とのよりよい接し方について学ぶことができます。 ●インターネットやゲームと子どもの育ち ●インターネットトラブルの対処法 ●家庭でのルールづくり など	特定非営利活動法人こども未来ネットワーク（賛託） 電話:0858-22-1960 FAX:0858-27-0271 EX-メール:media@kodomomirai.kirara.st	研修会開催の1ヶ月前までに申し込みが必要です。＊親子学習も対象です。

お知らせ・イベントコーナー

イベント名	開催期間	時間	場所	問い合わせ先	その他
《歴史講座》 鳥取藩寺社方日記について	3月9日(土)	10:00~12:00	鳥取県立博物館 会議室	県立博物館 学芸課 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込不要 対象:一般 定員:20名 ※鳥取県歴史研究会との共催事業
《歴史講座》 伯耆往来をあるく(赤碕~下市)	3月24日(日)	10:00~15:00	琴浦町内		参加費用:無料 申込不要 対象:高校生以下 一般 定員:20名
企画展 「Our Collections」 学芸員によるチャリートーク	3月2日(土)	14:00~15:00	鳥取県立博物館 展示室		参加費用:無料 申込不要 講師:山口典之氏(現代美術家、本展のキュレーター) 対象:高校生以下 一般 定員:250名
企画展 「Our Collections」 スペシャルトークセッション 「地方都市と現代美術」	3月9日(土)	14:00~15:00	鳥取県立博物館 講堂	県立博物館 美術振興課 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 申込不要 講師:多田裕美氏(編集者、株式会社MUSEUM代表) 対象:高校生以下 一般 定員:250名
(アートシアター) 若みと立戸絵巻 絵の中の四季・いのちの形(上映時間6分)	3月23日(土)	14:00~15:00	鳥取県立博物館 講堂		参加費用:無料 申込不要 対象:高校生以下 一般 定員:250名
アートの種まきプロジェクト (=新しい美術館のためのワークショッププログラム) 「美術館ができるまで」を伝えるためのリーフレットをつくる。-記事作成のためのミーティング	3月30日(土)	開催時間未定 (決定次第HPに掲載します)	倉吉未来中心(セミナールーム7)		参加費用:無料 申込不要 対象:高校生以下 一般 定員:250名
新緑キャンプを楽しむ	4月27日(土)~28日(日)	(27日)10:00~12:00 (28日)15:00~			参加費用:1人3500円程度 申込:4月1日(月)~13日(土)午後5時必着 対象:小学生とその保護者 定員:16家族(60人程度)
ちょこっと体験隊	5月11日(土)	10:00~15:00	鳥取県立船上山少年自然の家及びその周辺	鳥取県立船上山少年自然の家 電話:0858-55-7111 FAX:0858-55-7119	参加費用:1人800円程度 申込:4月1日(月)~23日(土)午後5時必着 対象:小学2~3年生 定員:36名
スキルアップセミナー①	5月11日(土)~12日(日)	(11日)9:00~12:00 (12日)15:00~			参加費用:無料 申込:4月4日(木)~5月16日(木)午後5時必着 対象:大学生 定員:40名
スキルアップセミナー②	5月25日(土)~26日(日)	(25日)9:00~12:00 (26日)15:00~			参加費用:無料 申込:4月4日(木)~5月16日(木)午後5時必着 対象:大学生 定員:30名
春の体験満開フェスティバル	4月28日(日)	10:00~15:00	鳥取県立大山青年の家	鳥取県立大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:無料(一部有料の体験コーナーあり) 申込:不要(当日受付) 対象:幼児~一般 定員:なし(先着順で定員ありのコーナーもあります。)

よりよい紙面づくりのために
ご意見をお寄せください。

問合せ先
送り先

〒680-8570(住所記載不要)県教育委員会教育総務課
電話 0857(26)7926 FAX 0857(26)8185 E-MAIL kyouikusoumu@pref.tottori.lg.jp
バックナンバーはホームページでご覧いただけます。 http://www.pref.tottori.lg.jp/yumehiroba



科学の力で甦る青谷上寺地遺跡の弥生人〜進むDNA分析〜	1	【シリーズ】県立高校の取組	5
第3回 とっとり弥生の王国シンポジウム	2	【シリーズ】鳥取県のエキスパート教員	5
発掘! 因幡の遺跡展	2	【シリーズ】市町村教育委員会の取組紹介	5
【シリーズ】プロが教える文化遺産のツボ!	2	【子ども県政コーナー】世界とつながる鳥取県	6・7
平成30年度 鳥取県体力・運動能力調査結果	3	【トピックコーナー】	8
「あったかい風をみんなで吹かそう」缶バッジデザインコンクール	4	●見直してみませんか?子どもたちの生活習慣!	
読書を楽しもう 読書で楽しもう	4	●PTA研修会等への講師派遣のご案内	
		●お知らせ・イベントコーナー	

科学の力で甦る 青谷上寺地遺跡の弥生人

〜進むDNA分析〜

鳥取市の青谷上寺地遺跡は、優れた木工品をはじめとする弥生時代の様々な道具が非常に残りの良い状態で見つかったことから、「地下の弥生博物館」と呼ばれ全国的に注目されている遺跡です。青谷の地に約1,800年前に暮らしていた弥生人は、いったいどのような人々だったのでしょうか。現在、この謎に迫べく最新のDNA分析が行われています。



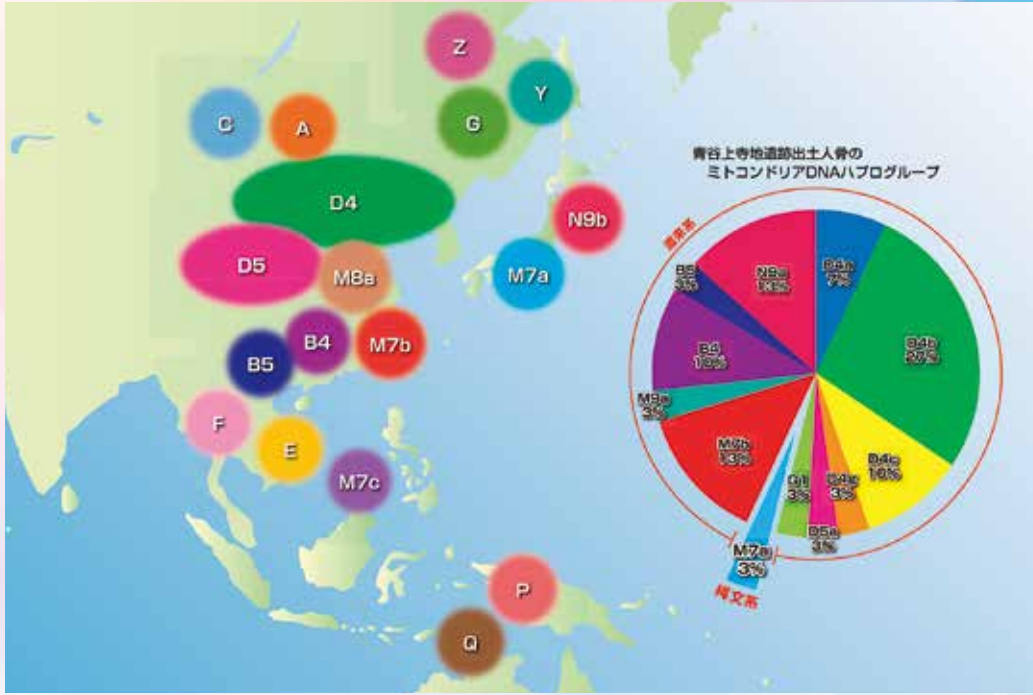
青谷上寺地遺跡から出土した人骨▶

DNA分析から分かってきたこと

この遺跡では、弥生時代の終わり頃(2世紀頃、約1800年前)に埋まった溝から、約5,300点(少なくとも109体分)もの人骨が見つっています。鳥取県埋蔵文化財センターでは、昨年より、国立科学博物館、国立歴史民俗博物館等と共同で、これらの人骨のミトコンドリアDNAを分析しています。まだ研究の途中段階ですが、とても興味深いことがわかってきました。

- ①分析結果を得ることができた32体の人骨のうち、31体が「渡来系弥生人」に分類されるDNAであり、日本列島に元々住んでいた縄文人に由来する「縄文系」のDNAを持っていたのは1体のみでした。
- ②さらに、渡来系のDNAはたくさんのタイプに分かれており、これらの人々には、血縁関係がほとんどないこともわかりました。

この分析結果は、青谷上寺地遺跡には、大陸から様々な人々がやってきていた可能性を物語っています。青谷上寺地遺跡からは、中国製の貨幣(コイン)や鏡、朝鮮半島製の鉄器などの貴重品が数多く見つかり、日本海を舞台とする交易で栄えた「港まち」だったと考えられています。DNA分析から見てきた渡来系弥生人の存在は、考古学の調査から得られた青谷上寺地遺跡のイメージを補強するものと言えます。



分布図は「歴史REAL 日本人の起源」(洋泉社2018年)掲載の図を基に作成

東アジアにおけるDNAのタイプの分布と青谷上寺地遺跡出土人骨のDNAのタイプの割合

青谷の弥生人が母方から受け継いだミトコンドリアDNAのタイプは、ほとんどが大陸にルーツをもつ「渡来系」のものでした。

DNAって何?

身体の特徴を親から子へと伝える「遺伝情報」が書き込まれた物質のこと。細胞の中の「核」と「ミトコンドリア」という小器官に存在します。これらのうち、ミトコンドリアのDNAは母親からのみに伝えられる特徴があります。

骨の計測値から見た青谷上寺地遺跡の弥生人

青谷の弥生人の姿に迫るこれまでの研究は、骨の長さや幅を計測し、国内外の人骨と比較する方法で行われてきました。顔の形がやや面長であること、大腿骨(太ももの骨)の長さから推測した平均身長が男性162cm、女性148cmであり縄文人より高いこと等の特徴は、青谷の弥生人が骨の形の点からも「渡来系弥生人」に分類されることを示しています。

問合せ先 鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室 電話 0587(85)5011 FAX 0857(85)5012